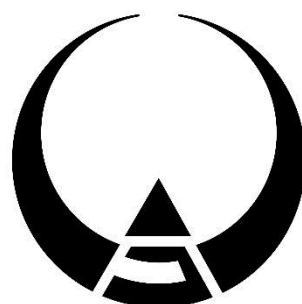
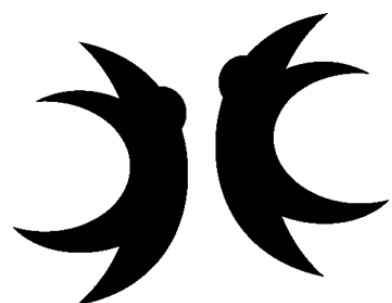


第2次
八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン
(令和2年度～令和6年度)



北杜市・富士見町・原村

令和2年3月

目 次

第1章	八ヶ岳定住自立圏の概要	1
	1 定住自立圏の名称	1
	2 定住自立圏の構成市町村	1
	3 定住自立圏の目的・役割	1
	4 定住自立圏の政策分野	2
	5 構成市町村の概況	3
第2章	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの概要	4
	1 共生ビジョンの目的	4
	2 共生ビジョンの計画期間	4
第3章	八ヶ岳定住自立圏の将来像	5
	1 将来人口推計	5
	2 定住自立圏の将来像	7
第4章	八ヶ岳定住自立圏の基本的事項	9
	1 基本方針	9
	2 事務執行にあたっての協力・費用負担	9
	3 協定の変更・廃止	9
	4 疑義の解決	9
第5章	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	10
	1 生活機能の強化	11
	2 結びつきやネットワークの強化	43
	3 圏域マネジメント能力の強化	55
第6章	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制	57
資料編	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	58
	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	60
	第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン審議経過	61

第1章 八ヶ岳定住自立圏の概要

1 定住自立圏の名称

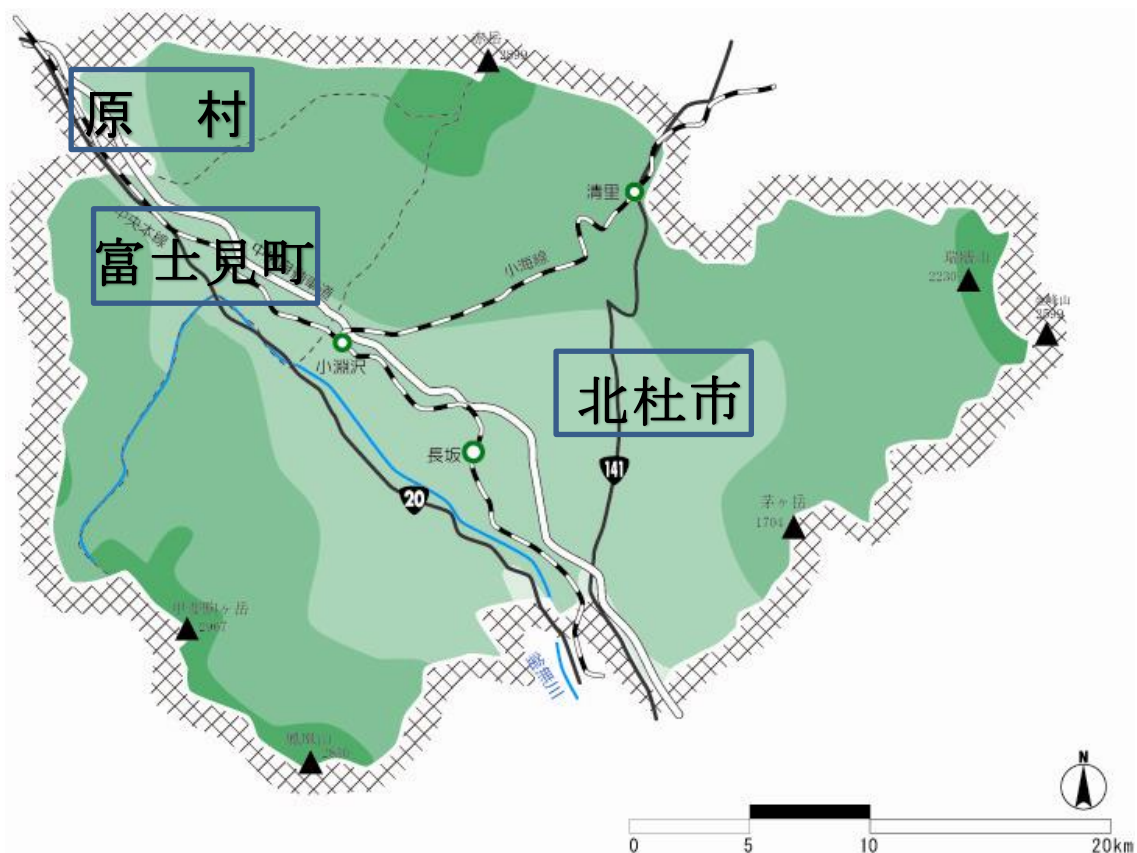
八ヶ岳定住自立圏

2 定住自立圏の構成市町村

山梨県北杜市（中心市）、長野県富士見町、長野県原村（構成町村）

3 定住自立圏の目的・役割

少子化による人口減少と高齢化社会を迎えている中で、八ヶ岳定住自立圏域が将来にわたって安心して暮らすことのできる地域として、圏域の市町村が相互に連携と協力を行い、圏域全体の生活機能の強化等に取り組むことにより、八ヶ岳圏域の定住人口の確保と地域の活性化を図ります。



4 定住自立圏の政策分野

北杜市と富士見町及び原村との間で締結した、「八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、構成市町村が相互に連携・協力して、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」及び「圏域マネジメント能力の強化」の政策分野に取り組みます。

1. 生活機能の強化

施策区分	施策分野	取組内容
医療	医療体制の充実	圏域内の医療体制の充実
	健康づくりの推進	地域の健康増進の推進
福祉	子育て支援	子育て支援施設の相互利用の促進
		子育てイベント情報の共有
産業振興	観光振興の推進	八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客 南アルプスユネスコエコパーク事業への取組（※）
	鳥獣害防止策	農林業被害防止のための鳥獣害防止対策への取組
	地産地消・販路拡大の推進	地産地消及び販路拡大の推進
教育・文化	図書館の相互利用等	各図書館の相互利用等の促進
	生涯学習の充実	施設の相互利用、イベント情報の共有
	文化財の保護、活用	文化財の保護、活用の推進

2. 結びつきやネットワークの強化

施策区分	施策分野	取組内容
地域公共交通	地域公共交通のネットワーク化	バス路線等の維持・確保対策への取組（※）
圏域内外の住民との交流及び移住の促進	結婚支援	若者への出会いの機会の提供、結婚支援への取組
	移住促進及び交流促進	就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組
	女性の活躍	女性の活躍と雇用の促進
道路等のインフラの整備	道路の整備	観光ルート等の道路整備への取組

3. 圏域マネジメント能力の強化

施策区分	施策分野	取組内容
圏域内市町村職員の交流	市町村間職員研修	圏域内職員の資質向上及び圏域マネジメント能力向上に向けた研修開催

（※）北杜市と富士見町のための協定項目です。

5 構成市町村の概況

山梨県北杜市、長野県富士見町及び原村は、山梨県と長野県にまたがる日本百名山の一つである八ヶ岳の主峰赤岳より南側に広がる地域で、県境を挟んで東側に北杜市、西側に富士見町及び原村が位置します。

圏域は、八ヶ岳南麓の豊かな自然環境と長い日照時間、夏季は冷涼の気候、八ヶ岳や南アルプスの眺望、富士山が遠望される優れた景観を有しており、約30分以内の移動で標高差が1,000mにもなる変化のある地形のため、多くの花や紅葉を長い間楽しめるほか、豊富な種類の農産物の収穫ができます。

また、古くは約5,000年前、「井戸尻文化」といわれる共通の文化が栄え、縄文銀座ともいわれるほど多くの人々が住み、素晴らしい造形の土器をつくり栄えた地域でした。

さらに、美術館や工房等も数多く点在するなど、芸術家等が創造の地として移り住み工房等を開いている状況は、縄文時代から現在に至るまで、この圏域が「住んでよし」を体現している証といえます。

この圏域は、県境を挟んだ地域ではありますが、構成市町村の地理的、歴史的な繋がりは深く、日常の買い物、医療、通勤、レジャーなどの点で圏域内の住民生活に関する結びつきは強く、従来から生活圏を形成しています。

平成18年に、隣接する北杜市と富士見町は広域消防相互応援協定を結んだほか、平成20年には、行政や観光協会等団体等で環境美化や自然保護を目的として、南北八ヶ岳保護管理運営協議会（北杜市、富士見町、原村を含む10市町村）を設立し活動を行っています。

また、平成22年には、全国に先がけ3市町村を圏域とする「八ヶ岳観光圏」として、国土交通省（観光庁）から認定され、「日本の顔」である八ヶ岳を、日本を代表する観光地としてさらに充実させるため、民間レベルでの連携が主体となり観光振興に取り組んでいるとともに、平成30年に日本遺産に認定された「星降る中部高原地の縄文世界」は、縄文文化遺産を活用し、観光関係事業者や農業事業者等と連携したインバウンド誘致と観光振興を中心とした交流人口増加に繋がるものとして期待されています。

第2章 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの概要

1 共生ビジョンの目的

安心かつ快適に暮らせる定住自立圏の形成に向け、構成市町村で締結した「八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、推進する具体的な取組等を示すと共に、八ヶ岳定住自立圏が目指す将来像を「定住自立圏共生ビジョン」として定めます。

2 共生ビジョンの計画期間

第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

ただし、協定を締結していない施策分野や取組項目においても、連携することにより効果的・効率的な施策展開が図られるものについては、追加で協定を締結し、定住自立圏において取り組んでいきます。

第3章 八ヶ岳定住自立圏の将来像

1 将来人口推計

平成27年（2015年）国勢調査における、八ヶ岳定住自立圏域（3市町村合計）の総人口は67,170人で、平成22年（2010年）国勢調査の69,879人と比較して2,709人減少しました。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和12年（2030年）以降は、全都道府県で総人口が減少することとなり、市区町村においては、70%以上の市区町村で平成27年（2015年）に比べ20%以上総人口が減少すると予想され、令和22年（2040年）には圏域の総人口は、

50,546人まで減少する見通しで、特に高齢化の進展が顕著に現れます。

この推計は八ヶ岳圏域に限るものではなく、日本の総人口は、令和12年（2030年）以降は、全都道府県で総人口が減少することとなりますが、特に地方においては、東京一極集中による若者の大都市への流出により急激な人口減少となり、極めて厳しい状況になることが予想されます。

こうした少子化による人口減少と高齢化が進むと、核家族化、空き家増加、地域経済減退、耕作放棄地増加や医療・介護サービス低下などが懸念されます。

その中で、地方への新しい人の流れをつくるため、安定した雇用の創出や若い世代の子育て支援の充実による移住・定住促進などの人口減少対策や圏域の住民が安心して幸せに暮らせる地域づくりのための医療体制の充実や教育文化の振興といった課題は、圏域市町村が抱える共通の課題であります。

表1 圏域の人口（平成27年（2015年）国勢調査）（単位：人、%）

	総数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
北杜市	45,111	67.1	4,613	10.2	23,995	53.2	16,457	36.5
富士見町	14,493	21.6	1,803	12.4	7,786	53.7	4,871	33.6
原村	7,566	11.3	976	12.9	4,141	54.7	2,448	32.4
計	67,170	100.0	7,392	-	35,922	-	23,776	-

※ 年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※ 比率：3市町村全体による構成比及び各市町村の年代別構成比

※ 平成27年（2015年）国勢調査の総数には年齢等の不詳を含む。

表2 圏域の推計人口（令和22年（2040年）社人研推計）（単位：人、％）

	総数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
北杜市	33,696	66.7	2,501	7.4	13,520	40.1	17,675	52.5
富士見町	10,364	20.5	1,036	10.0	4,408	42.5	4,920	47.5
原村	6,486	12.8	685	10.6	2,855	44.0	2,946	45.4
計	50,546	100.0	4,222	-	20,783	-	25,541	-

※ 年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※ 比率：3市町村全体による構成比及び各市町村の年代別構成比

※ 社人研：国立社会保障・人口問題研究所の推計

2 定住自立圏の将来像

1 圏域の将来像

国において、人口減少社会が本格的に到来する中、特に地方においても、大幅な人口減少が予想されることから、都市圏への過度な一極集中を是正し、地方における人口流出を抑制し、地方への人の流れの創出が喫緊の課題であります。

こうした状況において、北杜市、富士見町及び原村で構成する「八ヶ岳定住自立圏」では、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれる圏域づくりを目指し、構成市町村が互いに連携・協力しながら生活機能の充実や経済基盤の強化を図る必要があります。

このため、「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」において、「観光振興」、「産業振興」、「教育文化」、「人々の交流促進」、「人材育成」など定住人口の増加や活力ある地域づくりを目指すべく、圏域への人の流れの創出に向けた取組を行ってきましましたが、今後も人口減少・少子高齢化が進行していくことが見込まれ、特に生産年齢人口の減少が顕著となり、税収の減少や地域経済の縮小によって、各市町村の財政状況は厳しさを増し、それに伴い、地域活力の衰退や生活関連サービスの縮小による利便性の低下、集落の維持存続の限界などが懸念されています。

このため、八ヶ岳定住自立圏においても、国・地方を挙げた地方創生の取組による少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来に渡って活力ある圏域づくりの構築が求められています。

また、地方自治体におけるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するものであり、中長期を見通した持続可能な圏域づくりの推進により、あらゆる人の活躍が期待されることから、圏域における新たな地方創生の展開に向けた実現性を検討する必要があります。

このため、今後も持続可能な定住自立圏を形成していくためには、引き続き圏域の地域経済を活性化させるとともに、安心・安全な暮らしを支える生活基盤の強化と安全・安心な生活を送れる社会の実現を目指し、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれる圏域を創造していきます。

～ 圏域の将来像 ～

・健康で生きがい発揮の圏域づくり

若者から高齢者までの幅広い世代が、健康で生きがいをもって、元気で生き生きと暮らせる圏域づくりを目指します。

・豊かな自然環境との調和の圏域づくり

日本有数の山岳景観を有する圏域の地域資源を活用し、歴史と文化を生かしながら、圏域の魅力を高める圏域づくりを目指します。

・交流と前進の圏域づくり

圏域住民が郷土に誇りを持ち、圏域外から訪れる人々に地域力を伝え、将来に渡って住み続けたいと感じられる圏域づくりを目指します。

2 圏域の目標人口

本圏域の将来像を設定するとともに、各市町村による人口推計及び社人研推計を踏まえ、圏域として、令和22年（2040年）に圏域全体として、人口58,000人を目指すこととします。

（単位：人）

市町村名	目標人口	社人研推計
北杜市	40,000	33,696
富士見町	10,750	10,364
原村	7,020	6,486
合計	57,770	50,546

第4章 八ヶ岳定住自立圏の基本的事項

八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書において、定住自立圏に関する基本的事項を次のとおり定めています。

1 基本方針

中心市と構成町村は、定住自立圏を形成するにあたり、相互に連携を図り、共同し、又は補完しあいます。

2 事務執行に当たっての協力・費用負担

- (1) 中心市と構成町村は相互に役割を分担し、協力して事務の執行に当たります。
- (2) 必要な費用が生じるときは、相互の受益の程度等を勘案し、当該費用を負担します。
- (3) 事務の執行・費用の負担に関し必要な事項は、必要に応じて中心市と構成町村が協議して定めることとします。

3 協定の変更・廃止

- (1) 協定の規定を変更しようとする場合は、中心市と構成町村が協議の上、あらかじめ議会の議決を得ることとします。
- (2) 協定を廃止しようとする場合は、あらかじめ議会の議決を経た上でその旨を他方に通告するものとします。

4 疑義の解決

協定に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、中心市と構成町村が協議して定めることとします。

第5章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定に基づいて取り組む事業について、施策分野及び事業内容の区分により下記の事業シートに掲載しています。

なお、事業費が「0」のものは、予算措置を伴わない事業及び事業費が未定のものに用いられ、事業費が「—」のものは、協定を締結していない項目です。

【施策分野●】

政策分野	
項目	
取組内容	
関係市町村の役割	

【事業内容●－●】

事業名	●●事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要							
事業効果							
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市						
	富士見町						
	原村						
	合計						

I 生活機能の強化に係る政策分野

【施策分野①】

政策分野	生活機能の強化
項目	1. 医療 ア 医療体制の充実
取組内容	圏域の総合的な医療体制の充実を図るため、圏域住民が安心して暮らせる地域医療の体制づくりに取り組む。
関係市町村の役割	甲乙が連携し、圏域内の医療機関が行う健康な暮らしを支える取組の充実と相互の支援体制を構築する。

【事業内容①－１】

事業名	地域医療機関支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の医療機関が行う救急医療や地域住民を対象にした健康づくり事業に対し支援を行う。						
事業効果	救急医療体制の維持や医療機関への医師の派遣等による医療体制の充実が図られるとともに、各種健康づくり事業の実施による圏域住民の健康増進が図られる。						
導入可能な補助事業等	特別交付税に関する省令第 51 号						
重要業績評価指標 (K P I)	指標			H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)	
	救急病床			4 床		4 床	
事業費 (千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440

【施策分野②】

政策分野	生活機能の強化
項目	1. 医療 イ 健康づくりの推進
取組内容	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、健康に関する情報発信や健康意識の啓発に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、生活習慣の改善や運動習慣の確立に向けた情報発信や健康づくりを実感できる機会を創出する。

【事業内容②－１】

事業名	美からの健康教室開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、市内企業とタイアップして、美と健康をテーマにした講演や簡易健康測定を活用した教室を開催する。						
事業効果	若者から高齢者までの幅広い世代の健康意識の向上が図られ、元気な地域づくりが創出される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	特定健診受診率			北杜市 48.7% 富士見町 49.3% 原村 43.5%		60%以上	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	484	484	484	484	484	2,420
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	484	484	484	484	484	2,420

【事業内容②－２】

事業名	春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	市町村ごとの特徴ある健康づくり事業として、原村において「春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト」として、松本大学から講師を招き健康ウォーキングを中心に健康づくり教室を開催する。						
事業効果	構成市町村が相互に連携し、教室への参加を圏域全体に呼びかけることで意識の高揚と健康寿命延伸、市町村間の交流促進が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	教室参加人数			107人		220人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	400	400	400	400	400	2,000
	合計	400	400	400	400	400	2,000

【施策分野③】

政策分野	生活機能の強化
項目	2. 福祉 ア 子育て支援
取組内容	圏域内の子育て世代の交流促進を図るため、子育て支援施設の相互利用やイベント情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、子育て支援施設の相互利用や子育てイベント情報の共有による交流の機会を創出する。

【事業内容③－１】

事業名	子育て支援施設相互利用事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内 6 箇所の子育て支援施設において乳幼児（概ね 0 歳から 3 歳）とその保護者を対象に、子育てアドバイザーによる育児相談や情報提供、子育てに関する講習会やイベント等を行う。						
事業効果	圏域内の子育て中の保護者の負担感を緩和し、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、子育て支援施設の利用促進を図られる。						
導入可能な補助事業等	子ども・子育て支援交付金						
重要業績評価指標 (K P I)	指標			H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)	
	利用者数			14,650 人		14,665 人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	20,764	20,764	20,764	20,764	20,764	103,820
	富士見町	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	33,000
	原 村	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131	5,655
	合計	28,495	28,495	28,495	28,495	28,495	142,475

【事業内容③－２】

事業名	子育て応援フェスタ事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	子育て親子や地域の企業・団体と連携しながら、子育て応援フェスタを開催し、楽しみながら情報交換や仲間づくりができる場を創出する。						
事業効果	圏域内の子育て中の親子同士や地域の住民等との交流を推進するとともに、子育て支援施設の利用促進を図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	参加者数			405人		425人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	126	126	126	126	126	630
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	126	126	126	126	126	630

【施策分野④】

政策分野	生活機能の強化
項目	3. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、広域観光ルートの設定やインバウンド対策事業等、八ヶ岳観光圏事業の拡充に取り組む。

【事業内容④－１】

事業名	八ヶ岳観光圏事業支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>「住んでよし、訪れてよし」の選ばれる観光地域づくりを目指し、観光地域づくり法人「日本版DMO」の取組みを支援する。</p> <p>また、人材育成や地域資源の発掘・磨き上げ、観光客へのニーズ対応等を同法人と連携して実施することにより、質及び価値の向上を行い誘客を図る。</p>						
事業効果	八ヶ岳観光圏エリアへの来訪者誘客及び観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等	訪日外国人旅行者周遊促進事業等						
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	(宿泊者数)			1,130千人		1,209千人	
(外国人宿泊者数)			52千人		63千人		
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	24,770	24,770	24,770	24,770	24,770	123,850
	富士見町	17,552	17,552	17,552	17,552	17,552	87,760
	原村	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500
	合計	44,822	44,822	44,822	44,822	44,822	224,110

【事業内容④－２】

事業名	2次交通事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	周遊バス等の2次交通の整備や支援により、エリア内の交通網を充実させ、住民や観光客等の利便性の向上を図る。						
事業効果	周遊バス等の整備により、住民や観光客の利便性が向上し、圏域への来訪者が増加し、それに伴う経済的効果が期待される。 また、魅力ある観光地としての情報発信により、圏域への移住定住が促進される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	周遊バス利用者数			2,030人		2,050人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	5,250
	原村	524	524	524	524	524	2,620
	合計	1,574	1,574	1,574	1,574	1,574	7,870

【事業内容④－３】

事業名	旧道の駅こぶちさわ改修事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	八ヶ岳定住自立圏の玄関口である道の駅こぶちさわにおいて、道の駅こぶちさわのエリア内に残存する「（旧）道の駅こぶちさわ」を有効活用するため整備し、圏域内の観光や移住定住に関する情報を発信する。						
事業効果	「道の駅こぶちさわ」の整備により、集客力の強化と利用者の利便性の向上が見込まれ、八ヶ岳観光圏及び八ヶ岳定住自立圏の魅力発信と移住定住促進に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 （K P I）	指標			H 3 0 （基準値）		R 6 （目標値）	
	来館者数			318,357 人		320,000 人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	38,951	0	0	0	0	38,951
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	38,951	0	0	0	0	38,951

【施策分野⑤】

政策分野	生活機能の強化
項目	3. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパーク事業に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパークに関する情報等の共有及び共同事業を行う。

【事業内容⑤－１】

事業名	南アルプスユネスコエコパーク事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	南アルプスユネスコエコパークの保全と活用を推進するため、エリア内の環境保全、環境整備、地域の魅力・資源の発掘等により、情報発信と受入環境整備を図り、人と自然と文化が共生する地域づくりを推進する。						
事業効果	南アルプスユネスコエコパークエリア内への観光誘客と観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	観光客入込客数			2,317千人		2,493千人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	36,134	36,134	36,134	36,134	36,134	180,670
	富士見町	886	850	850	850	850	4,286
	原 村	-	-	-	-	-	-
	合 計	37,020	36,984	36,984	36,984	36,984	184,956

【施策分野⑥】

政策分野	生活機能の強化
項目	3. 産業振興 イ 鳥獣害防止対策
取組内容	有害鳥獣による農林業被害を防止するため、圏域で連携し、鳥獣害防止対策を総合的に進める。
関係市町村の役割	(ア)甲・乙と連携し、住民及び団体と連携を図りつつ、鳥獣害に関する情報交換等を実施する。 (イ)甲・乙と連携し、鳥獣害防止対策の調査研究を行うとともに、取組を実施する。

【事業内容⑥－１】

事業名	鳥獣害防止対策合同会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議において情報交換等を行い、効率的かつ有効な鳥獣害対策を検討する。						
事業効果	鳥獣害による農林業被害が減少し、農業経営の安定化と地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (K P I)	指標			H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)	
	検討会議開催数			1 回／年		1 回／年	
事業費 (千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【事業内容⑥－２】

事業名	野生鳥獣共同捕獲事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議を基に、圏域町村と連携して鳥獣被害を防止するため、共同捕獲事業の一環として、捕獲施設を設置し、圏域の猟友会と連携して、特定鳥獣の共同捕獲を実施する。						
事業効果	農林業被害が減少し、地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等	特定鳥獣適正管理事業						
重要業績評価指標 (KPI)	指標	H30 (基準値)			R6 (目標値)		
	農業被害額をH30の85%とする。	北杜市 28,656千円	富士見町 2,233千円	原村 3,641千円	北杜市 24,457千円	富士見町 1,940千円	原村 2,305千円
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	2,210	2,000	1,000	1,000	1,000	7,210
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	2,210	2,000	1,000	1,000	1,000	7,210

【施策分野⑦】

政策分野	生活機能の強化
項目	3. 産業振興 ウ 地産地消及び販路開拓を推進
取組内容	農林産物の消費拡大を図るため、道の駅・直売所等を活用し、地産地消及び販路拡大を推進する。
関係市町村の役割	(ア) 甲・乙と連携し、住民及び団体等と連携を図りつつ、地産地消、情報発信等に関する情報交換等を実施する。 (イ) 甲・乙と連携し、道の駅・直売所等の相互交流により、地産地消及び販路拡大の推進に資する取組を実施する。

【事業内容⑦－１】

事業名	八ヶ岳定住自立圏農林産物販売連携会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域に存する道の駅・直売所の活性化を図るため、連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信や食のイベントの共同開催等を通じて、相互連携を深めると共に新たな特産品のブランド化に取り組む。						
事業効果	特産品情報の共同発信により効果的な販路拡大が見込まれ、新たな特産品のブランド化にも繋がる。 また、各施設が連携した事業の検討及び実施が期待できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	会議開催数			1回/年		1回/年	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	25	25	25	25	25	125
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	25	25	25	25	25	125

【施策分野⑧】

政策分野	生活機能の強化
項目	4. 教育・文化 ア 図書館の相互利用等
取組内容	圏域住民の生涯学習の機会の充実を図るため、各図書館の相互利用等を促進する。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、各図書館の相互利用等を促進する。

【事業内容⑧－１】

事業名	図書館相互利用促進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域住民が、３市町村立図書館すべてにおいて利用カードを作り、貸出等のサービスが受けられることを１０館において広く周知し、自館で所蔵していない資料については、同時期・同期間に特設展示で紹介する。</p> <p>また、資料を他館から借受けることができ、借受け館では利用者への費用負担を求めることなく利用者に貸し出しなどを行う。</p>						
事業効果	<p>居住地以外の図書館でも利用カードが作れることで、圏域内の図書館の利用を促進することができる。</p> <p>また、利用者の望む資料を圏域で協力して提供することができる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	図書館資料展示日数			1,260日		1,800日	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	30	30	30	30	30	150
	富士見町	108	108	108	108	108	540
	原村	34	34	34	34	34	170
	合計	172	172	172	172	172	860

【事業内容⑧－２】

事業名	図書館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	各図書館が、各館ごとに計画しているイベント等の情報を共有し、利用者に提供していく。 展示期間を決め、共通のテーマに関する資料の展示を行う。						
事業効果	イベント情報の共有や共通テーマでの展示を行うことで、他の図書館への誘導を行うことができ、各図書館の利用促進につながる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	共通テーマの展示回数			2回		3回	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【施策分野⑨】

政策分野	生活機能の強化
項目	4. 教育・文化 イ 生涯学習の充実
取組内容	圏域内における芸術、文化、スポーツの振興を図るため、施設の相互利用やイベント情報の共有等に努め生涯学習の充実を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の芸術、文化、スポーツ施設で開催されるイベント等の情報を発信するとともに、圏域内の住民、子供達がイベント等に参加できるような機会をつくる。

【事業内容⑨－１】

事業名	演劇鑑賞・体験交流促進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールにおける文化芸術事業を推進するため、圏域住民から要望の多い演劇の鑑賞や体験の機会を実現させ、演劇を圏域内に定着させる。</p> <p>また、地方で公演の場を求めている劇団を首都圏から誘致し、目の前で臨場感のある生の演劇（鑑賞）や、圏域住民の文化芸術活動の充実のため演劇のワークショップを実施し、演劇への参加により、役者と圏域住民が一緒になって時間と空間を共有体験できる劇団の創出事業としての文化芸術事業を図る。</p>						
事業効果	<p>質の高い演劇等を開催することで、圏域全体の交流人口の増加が期待できる。圏域住民に演劇の鑑賞や体験の機会が充実し、圏域全体の文化芸術の振興が図られる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)		
	ワークショップ 参加者数		38人		60人		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	6,290	6,290	6,290	6,290	6,290	31,450
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	6,290	6,290	6,290	6,290	6,290	31,450

【事業内容⑨－２】

事業名	大学等との連携による文化芸術創造事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールが保有するそれぞれの特徴を強みとして、文化芸術活動を行う首都圏の大学や民間団体等の合宿誘致を図る。</p> <p>圏域内の宿泊施設に宿泊し、平日利用の少ないホールでの練習や活動の成果を披露する発表の場を提供するとともに、大学や民間団体等と連携し、その成果を圏域住民が鑑賞できる機会を創出する。</p>						
事業効果	<p>圏域住民の芸術鑑賞の機会が増加する。</p> <p>また、圏域内の宿泊施設での合宿を通じて、圏域住民との交流が生まれ将来の移住に繋がる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	合宿誘致数			1団体		3団体	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

【事業内容⑨－３】

事業名	文化芸術鑑賞・体験機会提供事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>市内ホールで、圏域住民に一流の文化芸術の鑑賞会や、子育て世代を対象としたミュージカルや音楽会等の芸術事業を提供し、質の高い文化芸術に触れる機会の充実や相互交流を目的とした参加型事業を推進し圏域の活性化を図る。</p> <p>また、圏域の子どもを対象とした多彩な優れた芸術鑑賞や楽器演奏体験等、観て聴いて触れて感じる文化芸術事業の機会を提供し、子どもたちの情操教育の推進を図る。</p>						
事業効果	<p>圏域住民や子育て世代に、文化芸術事業や参加型事業を開催することで、圏域の芸術活動が活性化され、住んでみたいまち（圏域）のイメージアップにつながり、交流人口の増加が期待できる。</p> <p>また、圏域住民の一流の文化芸術を鑑賞する機会の充実や、圏域の子どもの情操教育が図られる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	ホール入場者数			939人		1,200人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	10,765	11,000	11,000	11,000	11,000	54,765
	富士見町	150	150	150	150	150	750
	原村	80	80	80	80	80	400
	合計	10,995	11,230	11,230	11,230	11,230	55,915

【事業内容⑨－４】

事業名	峡北スケート大会、スケート教室開催事業及びスケート振興推進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>山梨県立八ヶ岳スケートセンター会場にした圏域の小中学生、高校生が参加する圏域における一流選手への登竜門的大会としての峡北スケート大会に開催する。</p> <p>また、トップアスリートによるスケート教室や親子スケート教室を開催するとともに、独自の施設利用料金の割引制度を策定し、圏域住民がスケートに親しみ、冬季の健康増進や体力向上のための利用や、圏域内観光客のレジャーとしてのスケート振興を図り、山梨県立八ヶ岳スケートセンターの利用促進に努める。</p>						
事業効果	<p>圏域におけるスケート競技力の向上と指導者の資質向上や、冬季の健康増進や体力の向上が図られ、スケートに接する機会が増えることで、交流人口の拡大が期待できスケートの振興につながる。</p> <p>また、スケートを通じて圏域の魅力を積極的に発信することができ、観光客等が利用することでスケートが冬季のレジャーとして定着し、圏域内の宿泊事業者や観光事業者への波及効果も期待できる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	教室参加者数			390人		400人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	2,808	2,808	2,808	2,808	2,808	14,040
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	2,808	2,808	2,808	2,808	2,808	14,040

【事業内容⑨－５】

事業名	BMX・ビーチバレー普及事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	東京オリンピック時にフランス・BMXチーム及びビーチバレーチームが事前合宿を行うことから、練習会場であるYBP及び白州サンドバレーコートを会場に、競技の普及を図るため教室や大会等を開催し、競技を通じて興味や楽しさを感じてもらい、トップアスリートの豊かな経験と卓越した技術、スポーツの素晴らしさを圏域の住民や子ども達に伝え、スポーツに親しむ態度や習慣を身に付けるとともに、競技の普及に努める。						
事業効果	東京オリンピック事前合宿の練習会場において、教室や大会を開催し、競技に接する機会が増えることで、圏域住民が競技に親しみ、交流人口の拡大が期待できる。 また、BMX・ビーチバレーの普及に繋がり、競技の普及により、圏域住民の健康増進や体力向上が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	参加者数			300人		400人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	770	770	770	770	770	3,850
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	770	770	770	770	770	3,850

【施策分野⑩】

政策分野	生活機能の強化
項目	4. 教育・文化 ウ 文化財の保護、活用
取組内容	郷土の文化・伝統を守るため、連携して文化財の保護、活用を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、文化財の保護、活用を図る。

【事業内容⑩－１】

事業名	資料館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>縄文文化や棒道など、圏域にある文化財・郷土資料から選んだ共通のテーマの企画展を同時開催する。</p> <p>また、スタンプラリー等を開催する。</p>						
事業効果	<p>圏域内の資料館において共同で共通テーマの企画展を開催することで、全国に誇れる八ヶ岳山麓の歴史や文化をより効果的に発信でき、移住定住への関心を喚起できる。</p>						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	企画展開催中の圏域外からの入館者数			7,504人		9,577人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,698	1,665	1,665	1,665	1,665	8,358
	富士見町	125	120	120	120	120	605
	原村	125	120	120	120	120	605
	合計	1,948	1,905	1,905	1,905	1,905	9,568

【事業内容⑩－２】

事業名	文化財を活用した地域活性化事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>関係市町村に所在する八ヶ岳山麓の縄文時代史跡や鍔絵等の文化財を保護・継承し、それらを活用した地域活性化を図る。</p> <p>鍔絵等の伝統工芸の体験教室や、縄文文化遺産を巡るツアーの開催など、縄文文化遺産の観光資源化を行う。</p>						
事業効果	<p>八ヶ岳山麓の文化財、伝統文化の魅力を発信し、直に触れる機会を提供することで、八ヶ岳山麓の文化財、伝統文化の魅力を発信することができるとともに、地域住民の地域への誇り、圏域への移住・定住の関心を喚起できる。</p> <p>また、縄文文化遺産の観光資源化による、地域の観光振興の活性化が図られる。</p>						
導入可能な補助事業等	Living History 生きた歴史体験プログラム促進事業 文化財多言語解説整備事業						
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	地域の史跡等のインバウンド訪問者数			35人		105人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	10,000	8,000	5,000	1,000	1,000	25,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	10,000	8,000	5,000	1,000	1,000	25,000

【事業内容⑩－３】

事業名	裂き織り保存活用・発信事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	古くから農村で行われてきた着古した着物などを裂いて織るボロ機織りを伝承し、情報発信を行うことを目的とし、裂き織教室、体験や展示公開に加え、県アンテナショップなどでの展示及び実費配布などを行う。						
事業効果	古き農村の生活様式の一部である機織り技術を伝承し、体験、展示公開や実費配布などを通して、地域の魅力を発信することで、圏域への国内外からの観光客の増加や定住者の増加などが期待できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	入館者数 体験者数			1,300人 176人		1,400人 250人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	744	750	750	750	750	3,744
	合計	744	750	750	750	750	3,744

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

【施策分野⑪】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項目	1. 地域公共交通 ア 地域公共交通のネットワーク化
取組内容	圏域内住民等の移動手段を確保するため、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域における公共交通の課題について調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

【事業内容⑪－１】

事業名	圏域公共交通対策事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	県境で接する北杜市と富士見町は、生活圏として交流があるため、相互連携により圏域内の住民の移動手段を確保する。						
事業効果	圏域内の商業施設や医療機関、鉄道駅を相互に利用でき、圏域住民の利便性が向上する。						
導入可能な補助事業等	地域公共交通確保維持改善事業補助金						
重要業績評価指標 (K P I)	指標			H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)	
	北杜市民バス・富士見町 すずらん号利用者数			106,037 人		120,000 人	
事業費 (千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	13,616	13,616	13,616	13,616	13,616	68,080
	富士見町	17,300	17,300	17,300	17,300	17,300	86,500
	原 村	-	-	-	-	-	-
	合計	30,916	30,916	30,916	30,916	30,916	154,580

【施策分野⑫】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 ア 結婚支援
取組内容	若者に出会いの機会を提供するため、圏域全体で結婚支援に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、結婚相談や出会いのパーティ等のイベントを開催するとともに、結婚支援の取組の調整を行う。

【事業内容⑫－１】

事業名	出会いの機会創出事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内で魅力的な婚活イベントを開催するとともに、首都圏の独身女性が利用できる新宿発：定住自立圏行きの直行バスを運行する。						
事業効果	圏域内の男性に積極的に出会いの場を提供することで、若い世代の成婚、定住に繋げることができる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	婚活イベントにおける カップル成立数(組)			13組		16組	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,109	909	909	909	909	4,745
	富士見町	100	200	200	200	200	900
	原村	100	200	200	200	200	900
	合計	1,309	1,309	1,309	1,309	1,309	6,545

【事業内容⑫－２】

事業名	きめ細やかな結婚支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域内の結婚相談員の相互交流によるスキルアップとともに、出会いサポートセンターにおいて、圏域内の結婚希望者の情報共有を行う。</p> <p>また、ポータルサイトの効果的な運用を通じ、情報発信力を高める。</p>						
事業効果	圏域内で情報共有することで、交流範囲や出会いの場が広がり、若い世代の成婚・定住に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	結婚相談所を通じた成婚数(組)			4組		8組	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	2,159	2,159	2,159	2,159	2,159	10,795
	富士見町	482	482	482	482	482	2,410
	原村	72	72	72	72	72	360
	合計	2,713	2,713	2,713	2,713	2,713	13,565

【施策分野⑬】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 イ 移住促進及び交流推進
取組内容	移住促進及び交流推進を図るため、三大都市圏を対象とした就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、事業実施のために必要となる情報の収集を行い、移住希望者に対応できる移住相談案内窓口等を設置する。

【事業内容⑬－１】

事業名	移住定住相談対策推進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	<p>圏域内へのさらなる移住定住を推進するため、圏域内の移住定住相談に対応する総合的な相談窓口を設置し、圏域の情報の提供及び発信を行う。</p> <p>また、圏域内の移住定住事業の調整や合同相談会の企画運営を行う。</p>						
事業効果	圏域内の移住定住情報の集約化により、相談者の利便性が向上するとともに、圏域全体の移住定住人口及び関係人口の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	H30 (基準値)			R6 (目標値)		
	移住定住相談件数	813件			1,137件		
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	6,874	3,077	3,077	3,077	3,077	19,182
	富士見町	2,076	50	50	50	50	2,276
	原村	324	53	53	53	53	536
	合計	9,274	3,180	3,180	3,180	3,180	21,994

【施策分野⑭】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 ウ 女性の活躍
取組内容	女性に対する就職を支援するため、圏域内で働く魅力やライフスタイルに合った働き方を発信し、女性の雇用創出を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の女性の雇用促進に向けた機会を創出し、情報交換等を実施する。

【事業内容⑭－１】

事業名	就活女子会事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の企業で働く女性から、女子学生や一般求職者に対し、働くことの魅力やライフスタイルに合った働き方などを伝える「就活女子会」を開催する。						
事業効果	企業と就職希望者を結び付けることで、移住定住の促進と企業の人手不足の解消、女性の活躍に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	参加者数			12名		15名	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,306	1,306	1,306	1,306	1,306	6,530
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	1,306	1,306	1,306	1,306	1,306	6,530

【施策分野⑮】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項目	3. 道路等の交通インフラの整備 ア 道路の整備
取組内容	圏域内の交流人口を増加させるため、圏域を横断する観光ルート等となりうる道路整備に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の観光振興や災害時の緊急道路として、圏域を横断する主要道路が十分機能するよう整備に取り組む。

【事業内容⑮－１】

事業名	広域幹線道路整備促進協議会						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域の交通インフラの整備に向け、主要となる幹線道路や圏域内周遊市町村道路の整備促進を図るため、各市町村担当者等で構成する連絡協議会を開催し、整備に向けた検討や県に対する要望等を行なう。						
事業効果	圏域を直結で結ぶ幹線道路である主要地方道茅野北杜韮崎線、県道富士見原茅野線や圏域内を周遊する市町村道の整備促進を図ることにより、圏域内の繋がりが、より一層強化され、特に観光案内拠点となる道の駅こぶちさわの機能や周遊ルートの充実が図られる。 また、災害時における緊急道路としての効果も発揮される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	協議会開催数			1回/年		1回/年	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【事業内容⑮－２】

事業名	主要道路整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の交流促進や観光ルートとしての機能を有する路線として、中央自動車道の諏訪南ＩＣ、小淵沢ＩＣ及び小淵沢駅を拠点に連結・周遊する市町村道について、維持補修工事及び環境整備事業を実施するとともに、主要地方道茅野北杜葦崎線、県道富士見原茅野線についても事業を推進する。						
事業効果	主要観光ルート・連結周遊ルートの整備を進めることにより、通行の安心・安全の確保や利便性の向上が図られ、スムーズな人の流れや物流により、魅力ある環境づくりが図られる。						
導入可能な補助事業等	社会資本整備総合交付金						
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	(宿泊者数) (外国人宿泊者数)			1,130千人 52千人		1,209千人 63千人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	19,900	35,000	35,000	35,000	30,960	155,860
	富士見町	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
	原村	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
	合計	39,900	55,000	55,000	55,000	50,960	255,860

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

【施策分野⑯】

政策分野	圏域マネジメント能力の強化
項目	1. 圏域市町村職員の交流 ア 市町村間職員研修
取組内容	圏域内市町村職員の資質の向上及び圏域マネジメント能力の向上を図るため、合同研修を行う。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内市町村職員が合同で参加することで効果が期待できる研修を企画し、実施する。

【事業内容⑯－１】

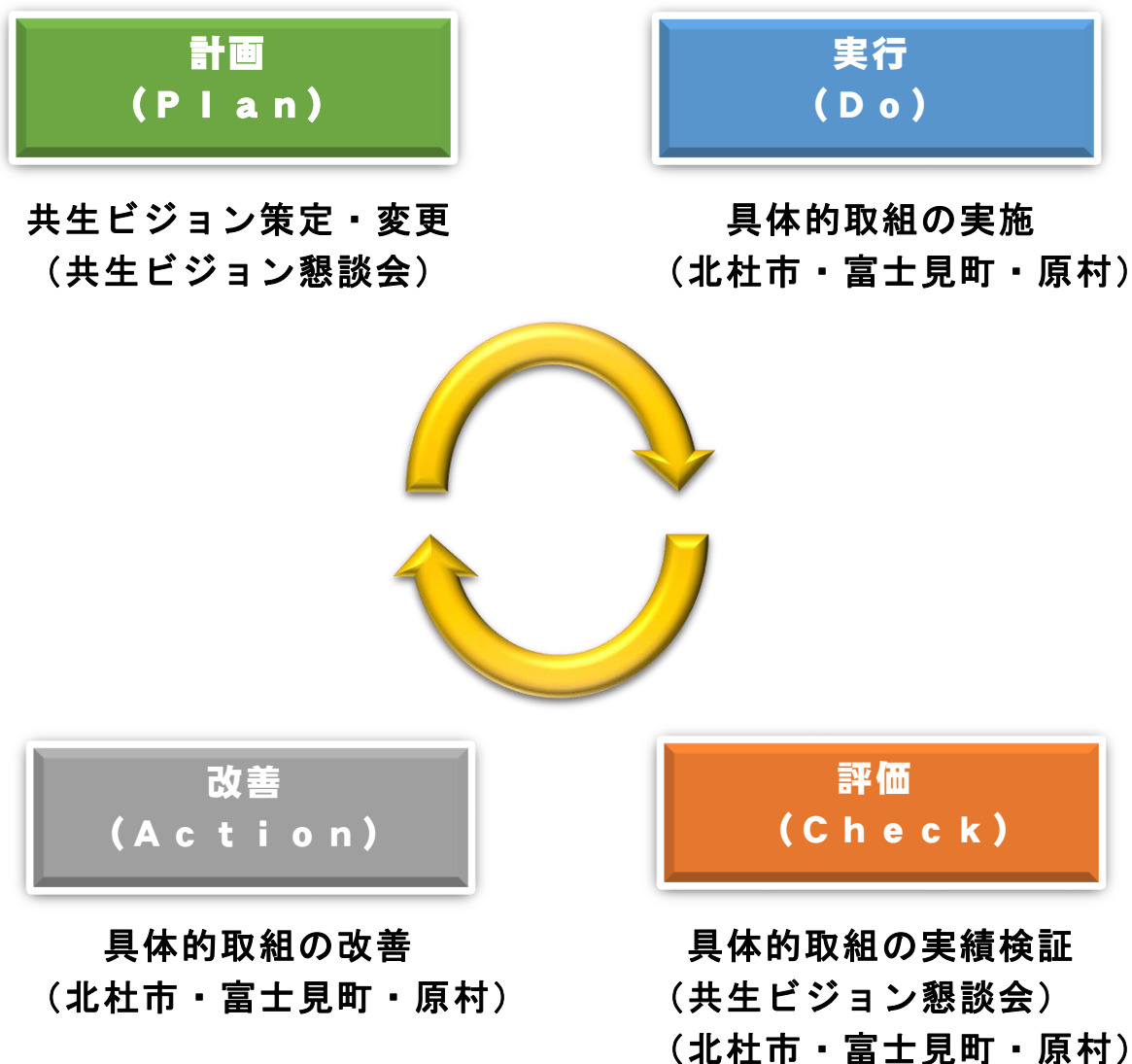
事業名	圏域市町村職員合同研修開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	定住自立圏で取り組む課題や圏域内の市町村で共通する課題をテーマとした、職員合同研修を開催する。						
事業効果	合同研修の開催により職員の資質や政策形成能力の向上を目指すとともに、八ヶ岳定住自立圏形成に対する意識・取組を共有することにより、多岐にわたる課題を解決する市町村職員相互のネットワーク基盤の構築が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	研修会開催数			5回		5回	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	200	200	200	200	200	1,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	200	200	200	200	200	1,000

第6章 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制

第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンは、今後の5年間の八ヶ岳定住自立圏が目指す将来像や具体的な取組等を示すもので、こうした取組を確実に進めていくためには、「計画（Plan）」、「実行（Do）」、「評価（Check）」、「改善（Action）」のマネジメントサイクル（下記の図参照）により、実績や効果を検証し、次年度以降の取組に反映させていきます。

そして、その結果を、毎年度「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会」に報告し、必要に応じて見直しを行います。

■ 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制



(資料編)

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付け総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定に基づき、八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）を策定及び変更することに伴い、広く関係者の意見を反映させるため、八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 懇談会は、共生ビジョンの策定又は変更に関する事項について検討する。

(組織)

第3条 懇談会の委員（以下「委員」という。）は、20人以内をもって組織する。

2 委員は、八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書第3条に規定する取組内容に関連する分野を代表する者、その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長1人及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選によりこれを定める。

3 会長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 会長は、専門的な事項について必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、企画部企画課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

附 則

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

令和元年度

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	観光振興	小林 昭治	八ヶ岳観光圏（八ヶ岳ツリズムマネジメント）	
2	〃	窪田 福美	富士見町観光協会	
3	〃	半田 裕	原村観光連盟	
4	農業振興	福田 良樹	北杜市農業振興公社	
5	〃	五味 公守	富士見町農業委員会委員	
6	〃	小島 幸夫	原村農業委員会委員	
7	教育文化	進藤 玲子	北杜市教育委員会委員	
8	〃	鈴木 清	富士見町教育委員会委員	
9	〃	鎌田 晴之	原村文化財調査委員会・歴史民俗資料館運営協議会	
10	公共交通	利根川 昇	北杜市公共交通会議	会長
11	〃	名取 孝三	富士見町デマンド交通運行委員会	
12	結婚相談	清水 正隆	北杜市結婚相談員連絡協議会	
13	〃	永井 秀直	富士見町結婚相談所	
14	〃	五味 勇吉	原村民生児童委員協議会	副会長
15	移住定住	五味 孝文	北杜市空き家バンク協力会	
16	〃	河角 清一	県宅建協会富士見分会	
17	〃	小平 雅彦	原村田舎暮らし案内人	
18	学 識	藤原 真史	北杜市ふるさと創生会議	
19	〃	細川 昭二	富士見町まち・ひと・しごと創生有識者会議	
20	〃	小平 恒夫	原村地域創生検討委員会	

（敬称略）

～第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン審議経過～

平成31年

- 4月17日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 4月25日 平成31年度第1回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（北杜市）
- 4月25日 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン変更（第4回）

令和元年

- 5月 7日 八ヶ岳定住自立圏市町村長会議（富士見町）
- 7月17日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 8月 7日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 8月21日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 8月29日 令和元年度第2回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（北杜市）
- 10月23日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 10月25日 3市町村担当課長・担当者（取組項目に係る担当者）会議（富士見町）
- 10月31日 令和元年度第3回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（北杜市）
- 11月12日 八ヶ岳定住自立圏市町村長会議（富士見町）
- 11月13日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 12月 八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定について市町村議会議決（北杜市・富士見町・原村）

令和2年

- 1月14日 八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定合同調印式（北杜市）
八ヶ岳定住自立圏市町村長会議（北杜市）
- 1月24日 八ヶ岳定住自立圏担当者会議（富士見町）
- 1月29日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 1月30日 令和元年度第4回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会（北杜市）
- 2月12日 北杜市ふるさと創生本部会議
- 2月13日 八ヶ岳定住自立圏市町村長会議（富士見町）

- 2月 第2次ハヶ岳定住自立圏共生ビジョン市町村議会
報告
- 3月25日 北杜市ふるさと創生本部会議
第2次ハヶ岳定住自立圏共生ビジョン策定

第2次 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン

発行 北杜市 総務部 地域課
山梨県北杜市須玉町大豆生田 961-1
TEL 0551-42-1323
FAX 0551-42-1122